

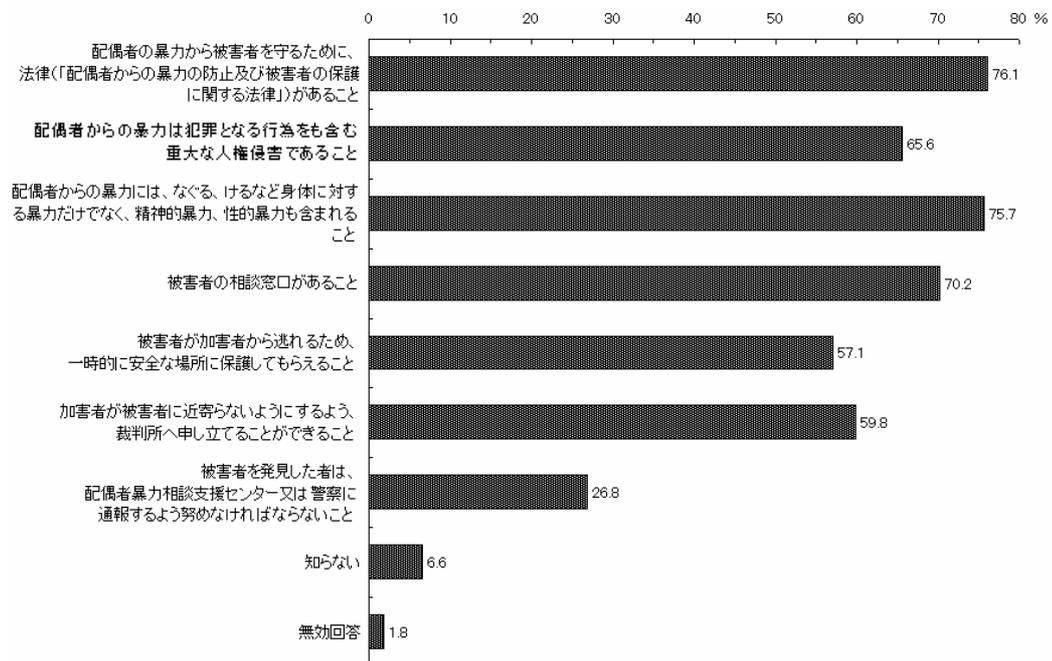
## 6. 男女間における暴力について

### (1) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護についての認知度

**問17** あなたは、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関して、次のことを知っていますか。ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含まれます。(以下、同様。)  
次の中から知っているものをいくつでも選んで○をつけてください。 【○はいくつでも】

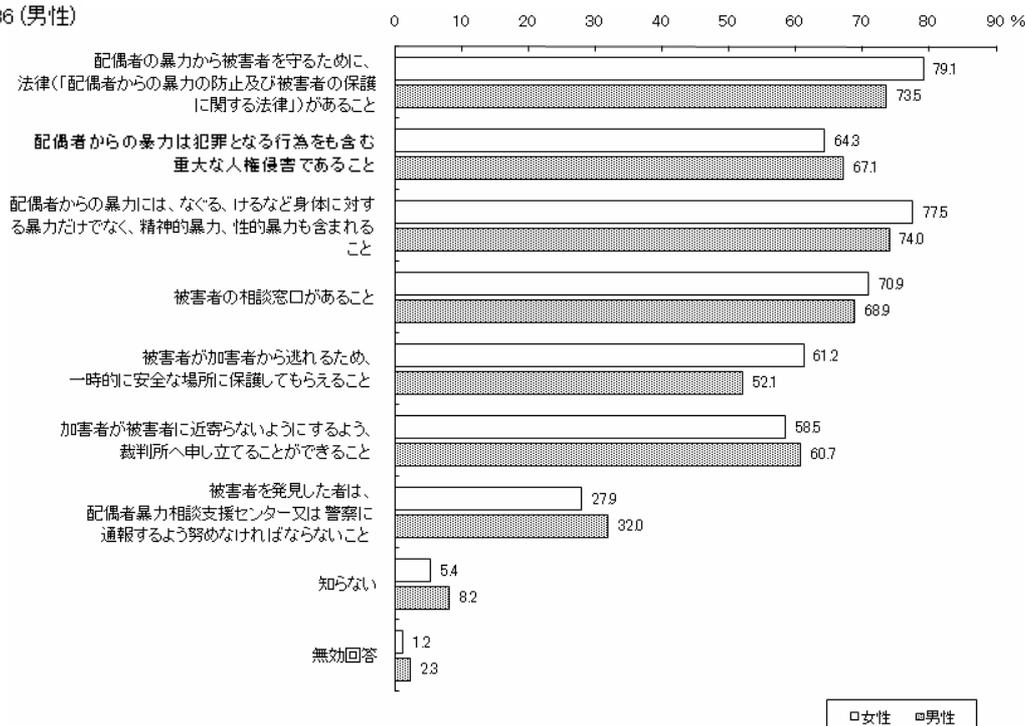
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護についての認知度について、「配偶者の暴力から被害者を守るために、法律(「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」)があること」(76.1%)が最も高く、次いで「配偶者からの暴力には、なぐる、けるなど身体に対する暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力も含まれること」(75.7%)、「被害者の相談窓口があること」(70.2%)となっている。

N = 795

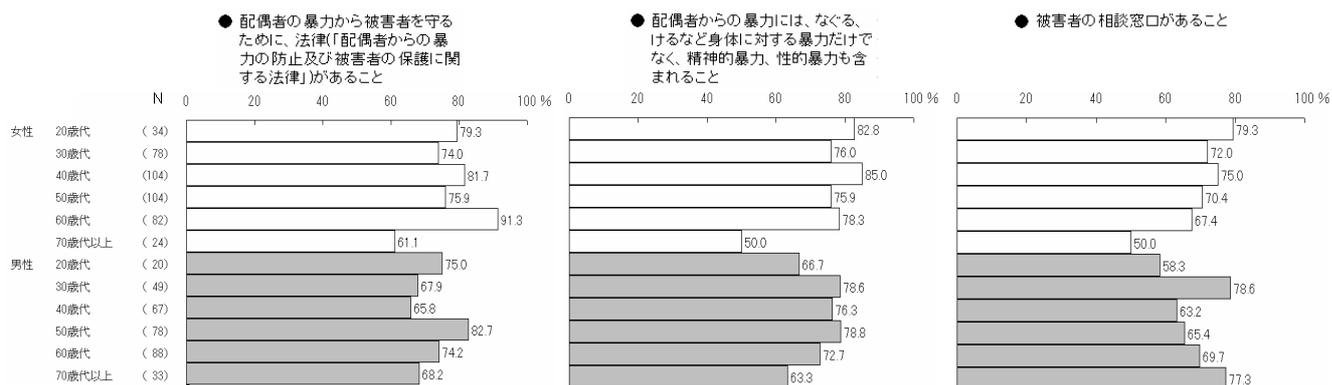


性別にみると、大きな差はみられない。

N = 427 (女性)  
336 (男性)



性別／年齢別にみると、「配偶者の暴力から被害者を守るために、法律(「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」)があること」、「配偶者からの暴力には、なぐる、けるなど身体に対する暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力も含まれること」、「被害者の相談窓口があること」のいずれでも、70歳代以上女性で低くなっている。



(2) 配偶者からの暴力の被害経験

これまでに結婚したことのある方のみお答えください。

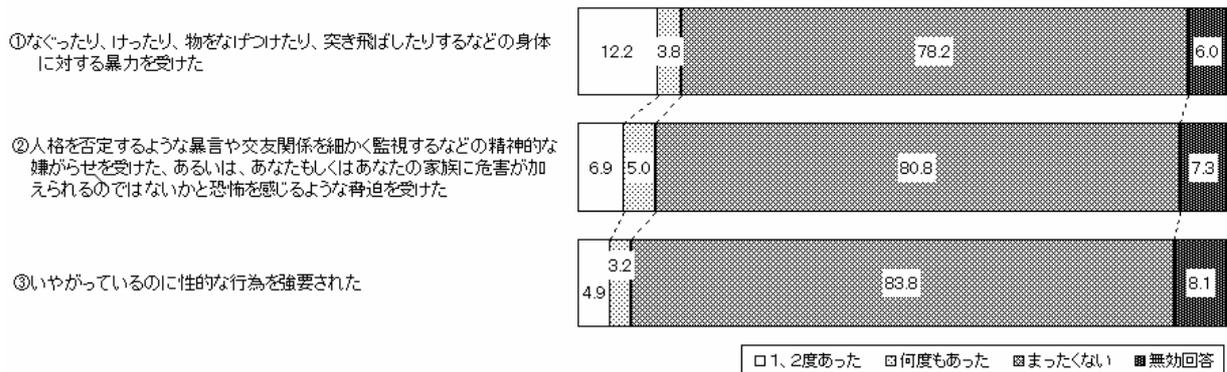
その他の方は問 22 へ進んでください。

問 18 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。

【〇はそれぞれ1つつつ】

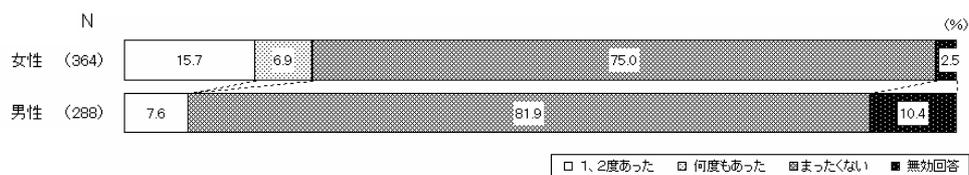
配偶者からの暴力の被害を受けた経験について、「身体的暴力の被害」（「なぐったり、けったり、物をなげついたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた」を「1、2度あった」又は「何度もあった」と回答した者の割合）が16.0%と最も多くなっている。

N = 655

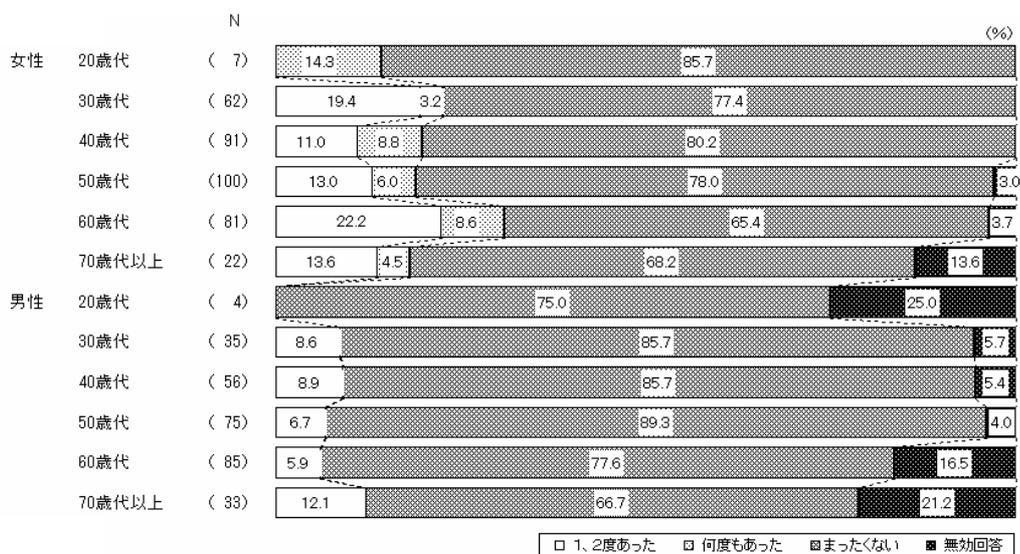


①なぐったり、けったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた

性別にみると、女性の「身体的暴力の被害」は22.6%と男性（7.6%）の約3倍となっている。

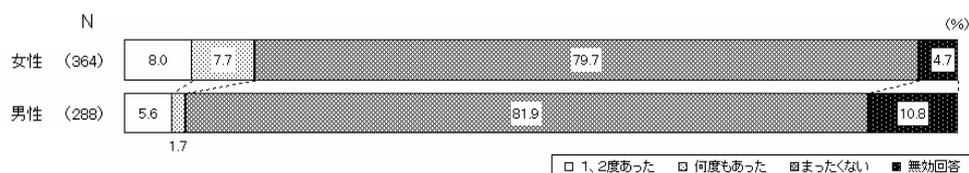


性別／年齢別にみると、「身体的暴力の被害」は60歳代女性で最も高くなっている。

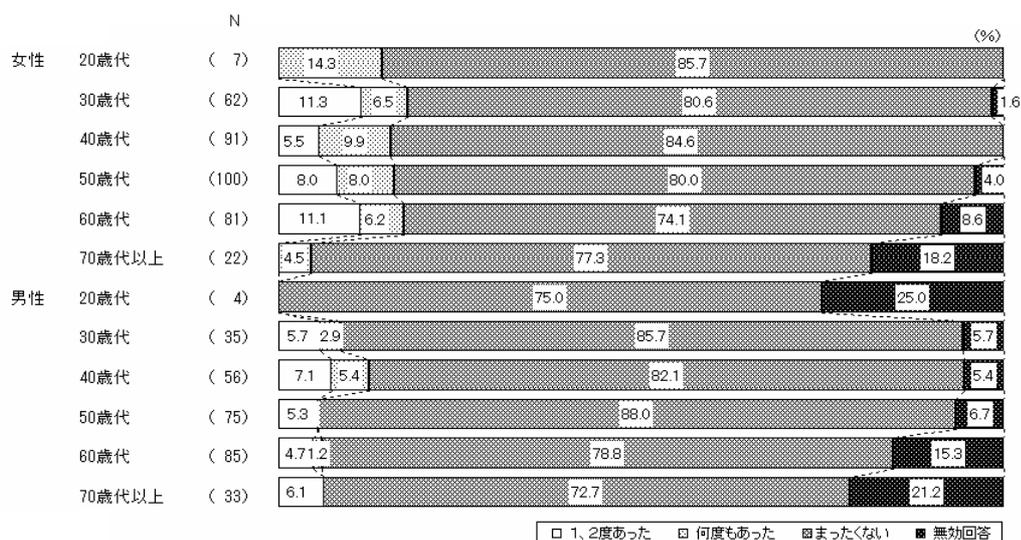


②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

性別にみると、女性の「精神的暴力の被害」（「人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」を「1、2度あった」又は「何度もあった」と回答した者の割合）は15.7%と男性（7.3%）の約2倍となっている。

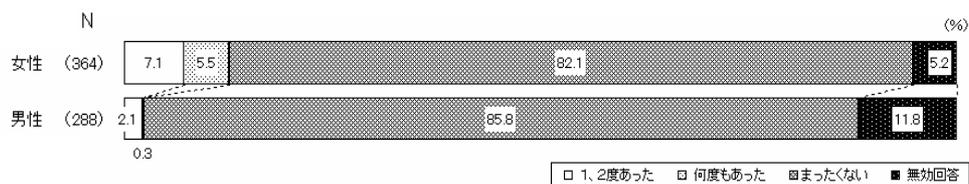


性別／年齢別にみると、「精神的暴力の被害」は20歳代～60歳代女性、40歳代男性で高くなっている。

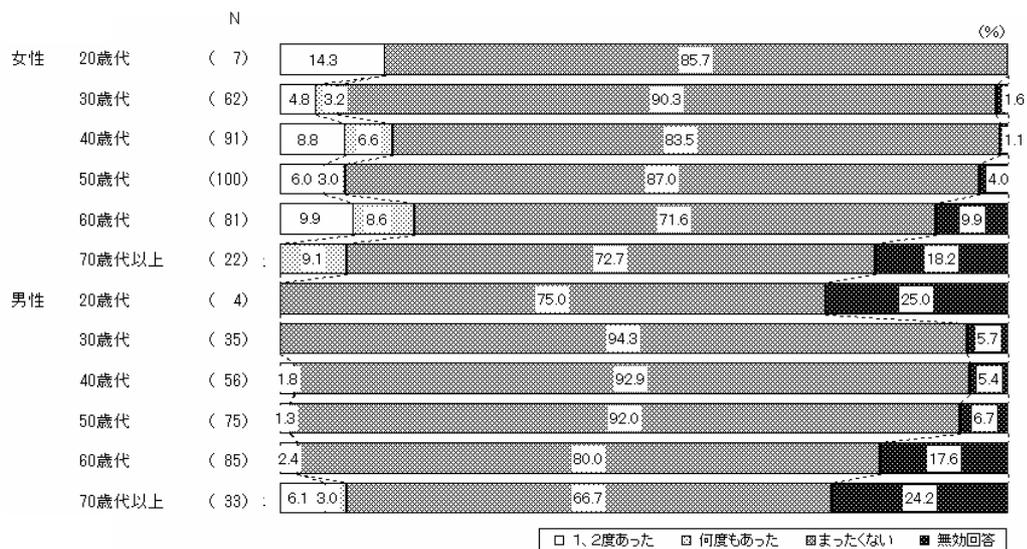


### ③いやがっているのに性的な行為を強要された

性別にみると、女性の「性的暴力の被害」（「いやがっているのに性的な行為を強要された」を「1、2度あった」又は「何度もあった」と回答した者の割合）は12.6%と男性（2.4%）の約5倍となっている。



性別／年齢別にみると、「性的暴力の被害」は女性のすべての年齢で見られるほか、70歳代以上男性で多くなっている。



(3) 過去5年以内の被害経験

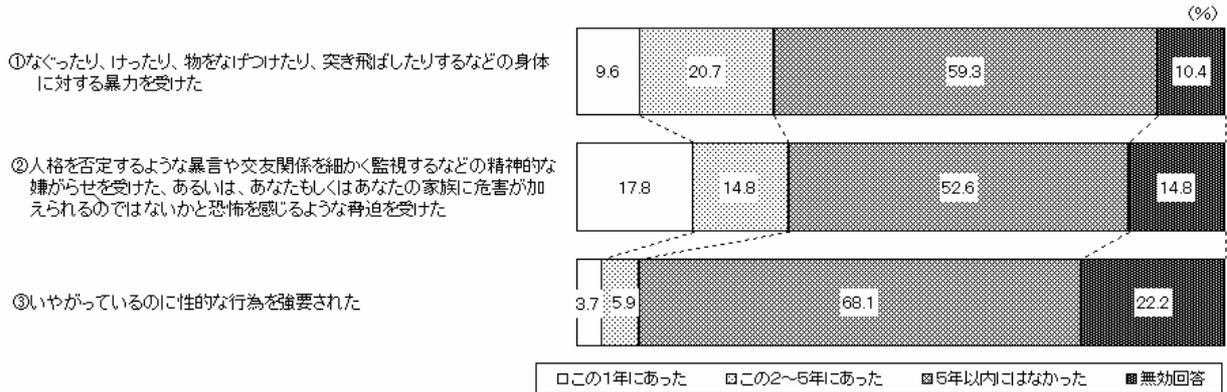
問18で①から③のうち1つでも、「1、2度あった」「何度もあった」と答えた方にお聞きます。

問19では、この1年とこの2～5年には、どうでしたか。

【〇はそれぞれ1つずつ】

配偶者からの暴力の被害経験のうち、過去5年以内の被害経験は「身体的暴力の被害」(30.3%)、「精神的暴力の被害」(32.6%)は約3割、「性的暴力の被害」(9.6%)は約1割となった。この1年の被害経験は「身体的暴力の被害」が1割、「精神的暴力の被害」が2割近くとなっている。

N = 135

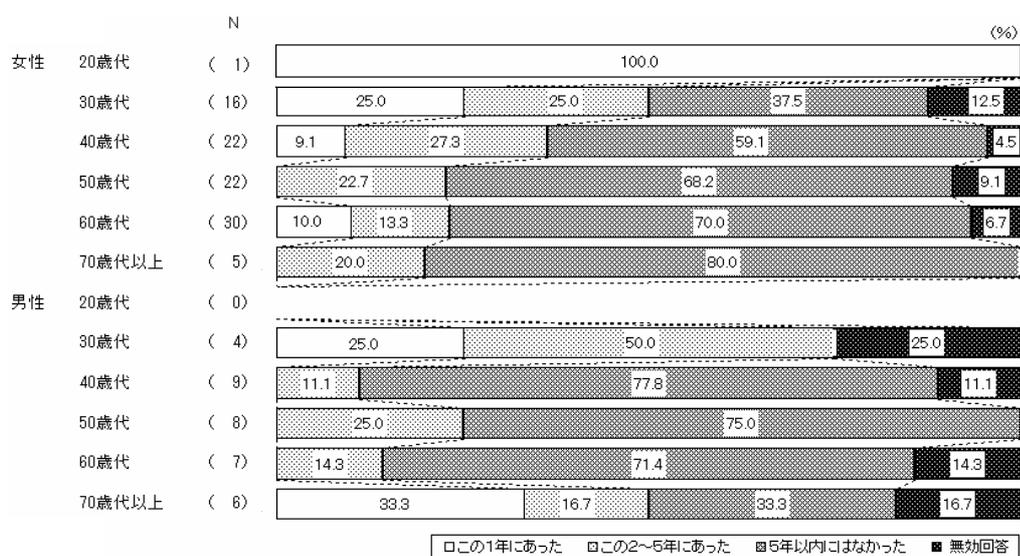


①なぐったり、けったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた

性別にみると、「身体的暴力の被害」のうち過去5年以内の被害経験は、男女とも約3割となっている。

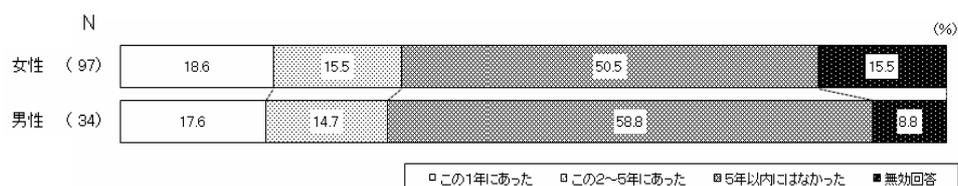


性別／年齢別にみると、「身体的暴力の被害」のうち過去5年以内の被害経験は、女性では年齢が低いほど高い傾向がみられる。

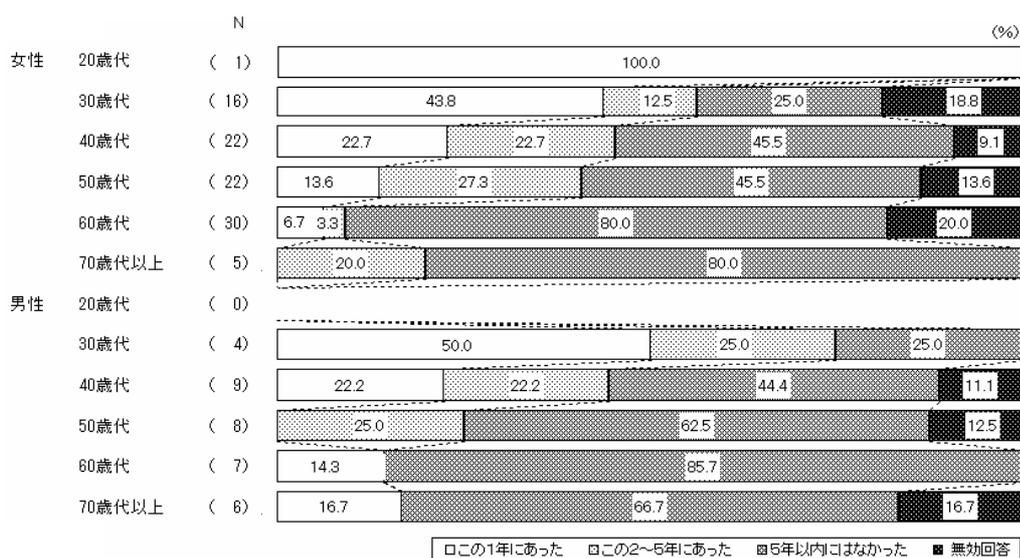


②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

性別にみると、「精神的暴力の被害」のうち過去5年以内の被害経験は、男女とも約3割となっている。

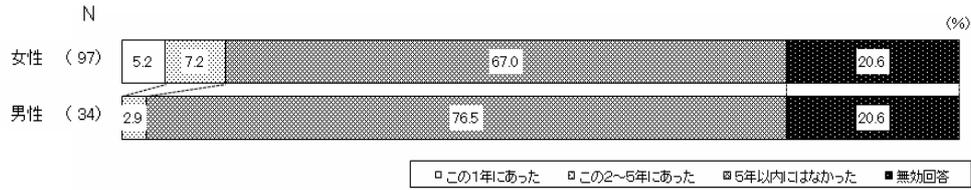


性別／年齢別にみると、「精神的暴力の被害」のうち過去5年以内の被害経験は、男女とも年齢が低いほど高い傾向がみられる。

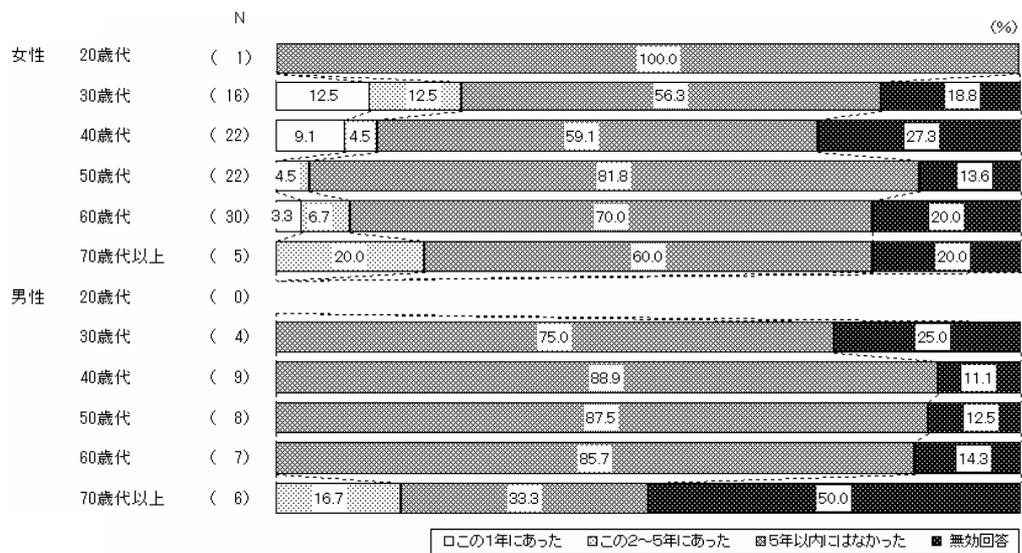


③いやがっているのに性的な行為を強要された

性別にみると、「性的暴力の被害」のうち過去5年以内の被害経験は、女性（12.4%）は男性（2.9%）の約4倍となっている。



性別／年齢別にみると、「性的暴力の被害」のうち過去5年以内の被害経験は、30歳代女性で最も高くなっている。



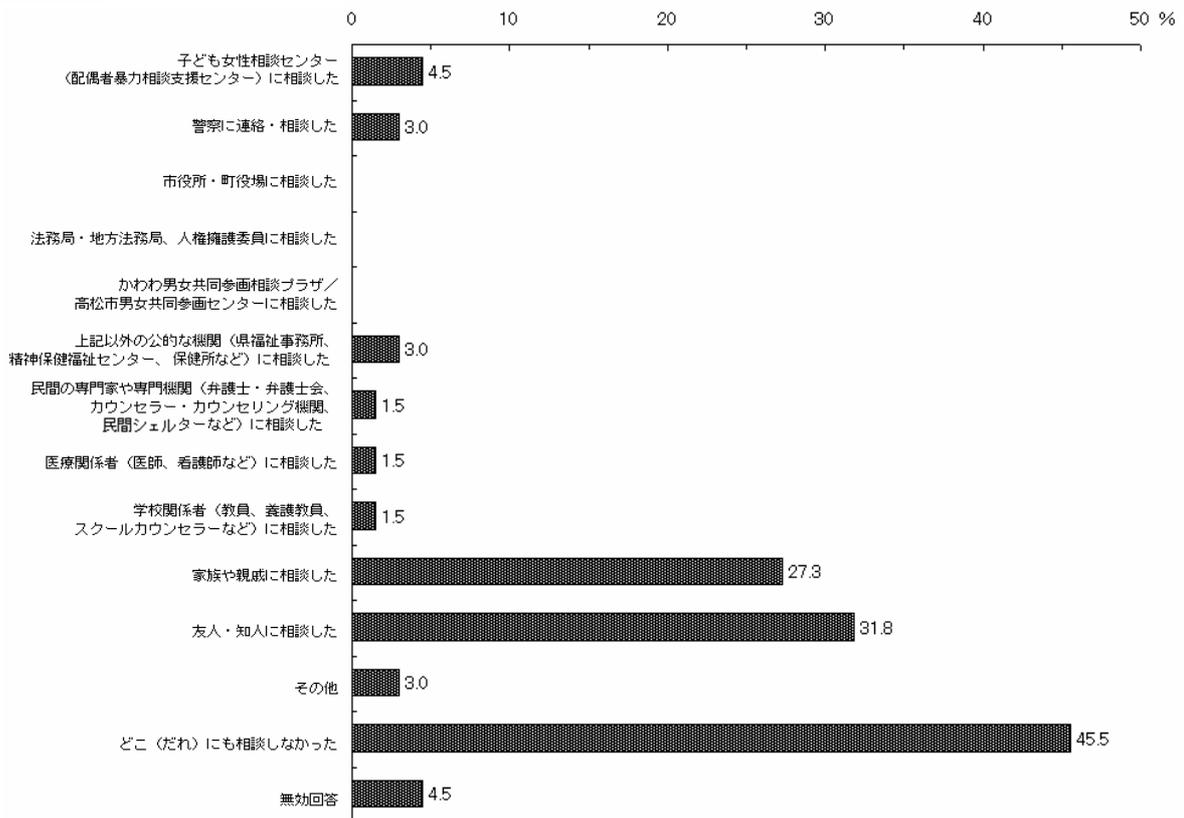
(4) 配偶者からの暴力の相談先

問19で①から③のうち1つでも、「この1年にあった」「この2～5年にあった」と答えた方にお聞きます。

問20 あなたは、あなたの配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。 【○はいいくつでも】

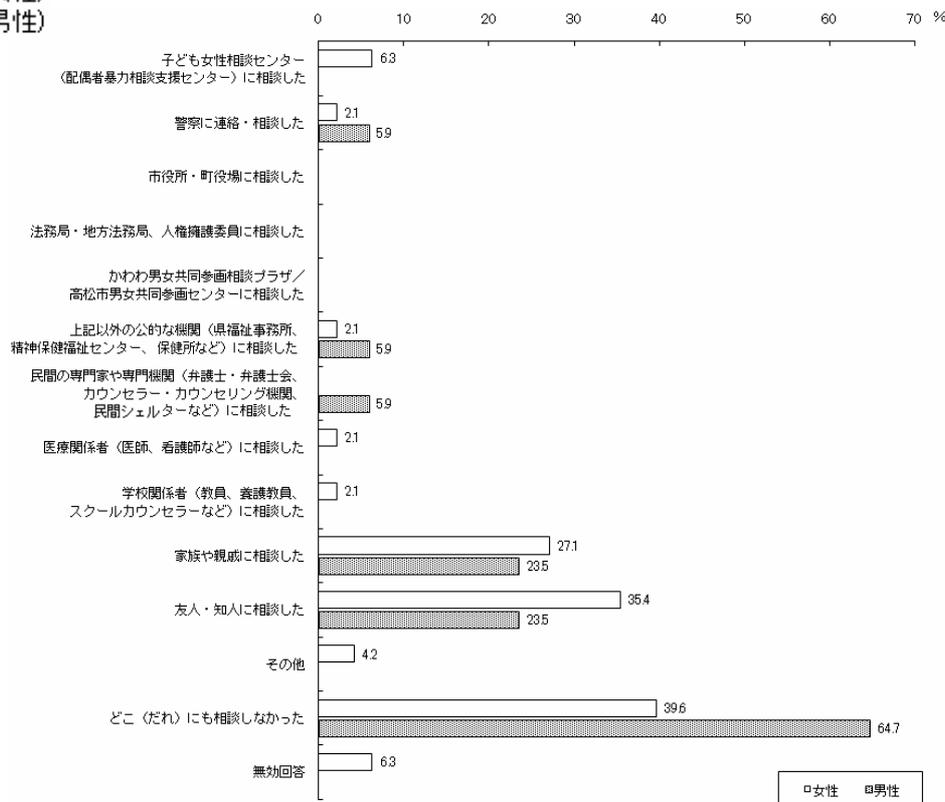
配偶者からの暴力の相談先について、「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した者が45.5%と最も多く、次いで「友人・知人に相談した」（31.8%）、「家族や親戚に相談した」（27.3%）となっている。

N = 66

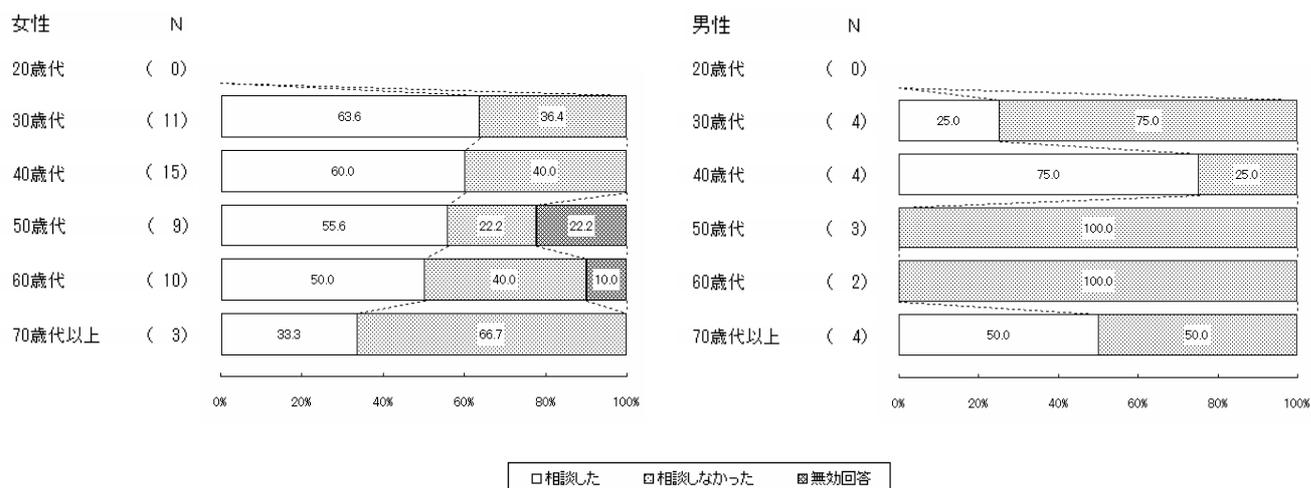


性別にみると、「どこ（だれ）にも相談しなかった」で 25.1 ポイント女性より男性が高く、「友人・知人に相談した」で 11.9 ポイント、「家族や親戚に相談した」で 3.6 ポイント男性より女性が高くなっている。

N = 48 (女性)  
17 (男性)



相談の有無を性別／年齢別にみると、どこかへ「相談した」人の割合は、女性で年齢が低いほど高くなる傾向がみられる。



(5)相談しなかった理由

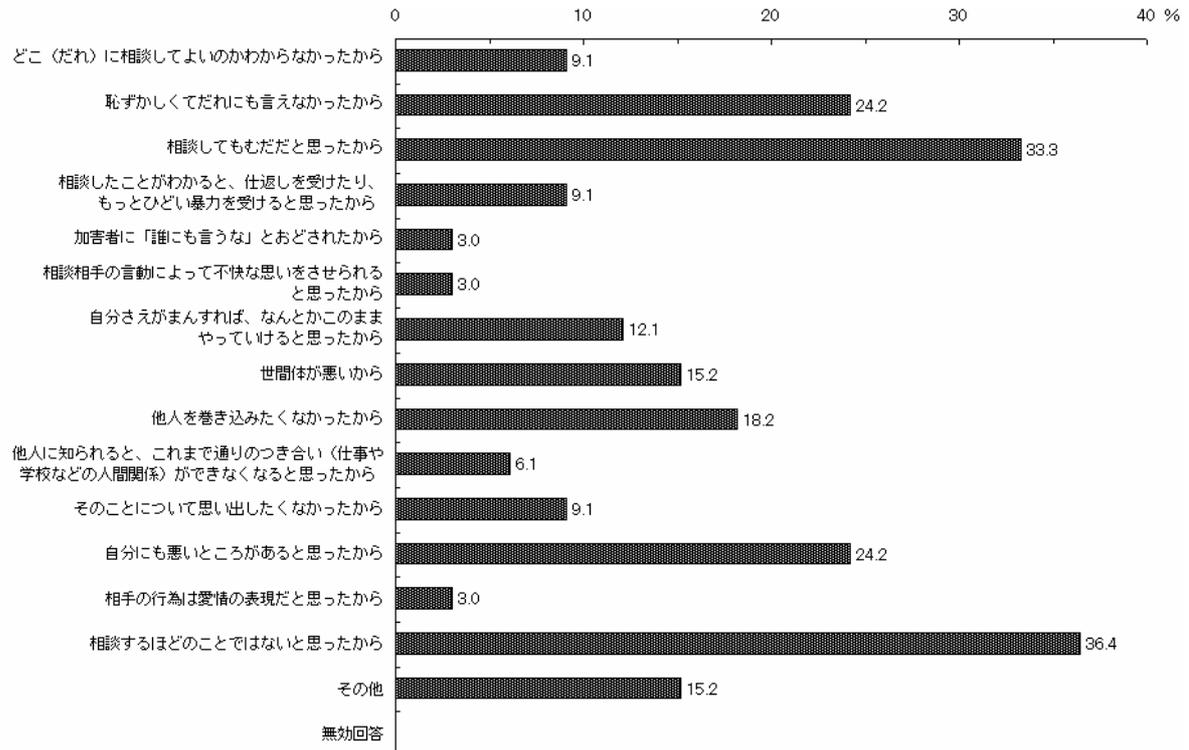
問20で「13 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

問21 どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。

【〇はいくつでも】

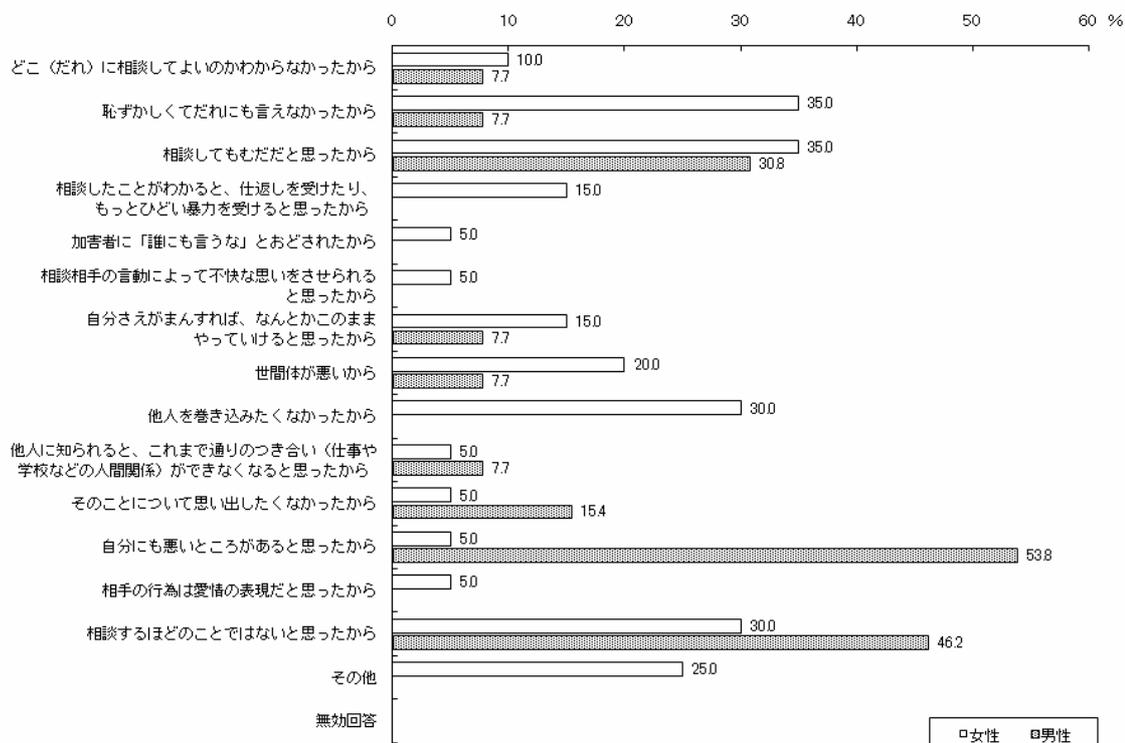
どこ(だれ)にも相談しなかった理由について、「相談するほどのことではないと思ったから」が36.4%と最も多く、次いで「相談してもむだだと思ったから」(33.3%)、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」(24.2%)、「自分にも悪いところがあると思ったから」(24.2%)となっている。

N = 33



性別にみると、男性では「自分にも悪いところがあると思ったから」(53.8%) がもっとも多く、女性では「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」(35.0%) と「相談してもむだだと思ったから」(35.0%) が最も多くなっている。

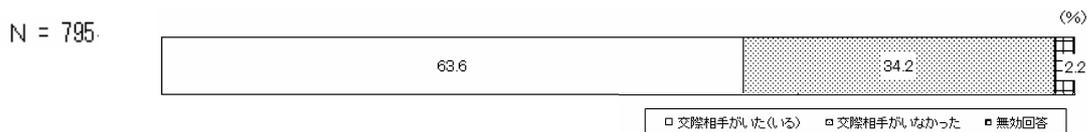
N = 20 (女性)  
13 (男性)



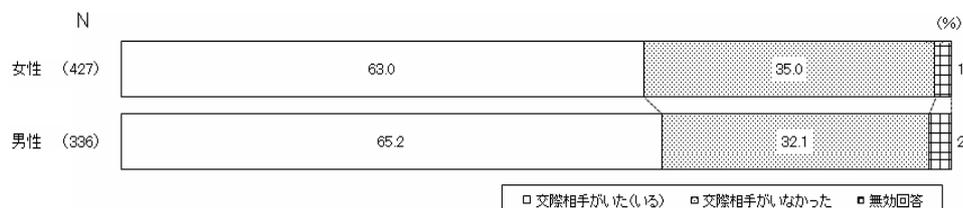
(6) 10 歳代から 20 歳代の交際相手の有無

**問 22** あなたの 10 歳代から 20 歳代の経験についてお聞きます。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。  
 あなたには、その当時、交際相手がありましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。結婚している方、結婚したことのある方については、後に配偶者となった相手以外についてお答えください。  
 【○は 1 つ】

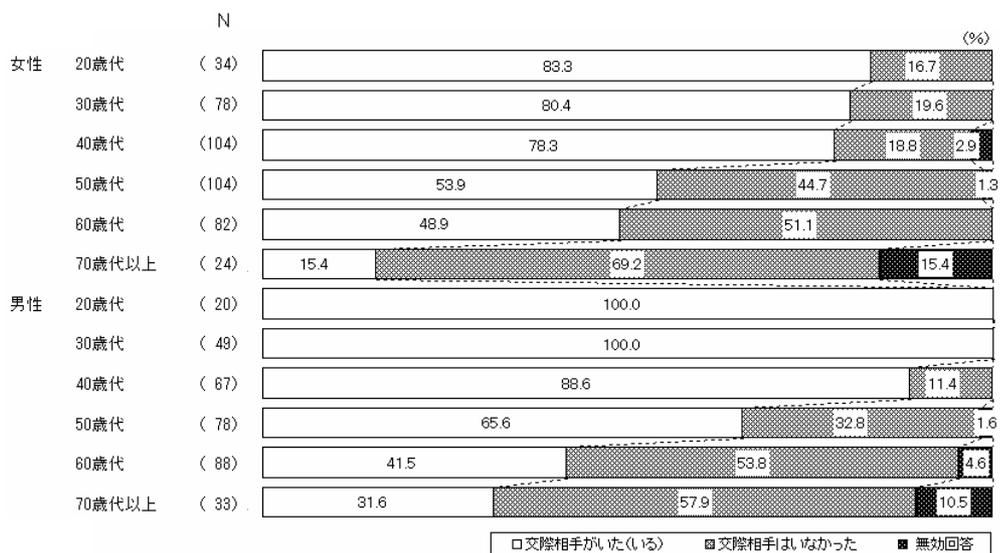
10 歳代から 20 歳代のとき交際相手がいいたかについて、「交際相手がいいた (いる)」と回答した者は 63.6% となった。



性別にみると、大きな差はみられない。



性別／年齢別にみると、「交際相手がいいた (いる)」については、男女とも年齢が低いほど高くなる傾向がみられる。



(7) 交際相手からの暴力の被害経験

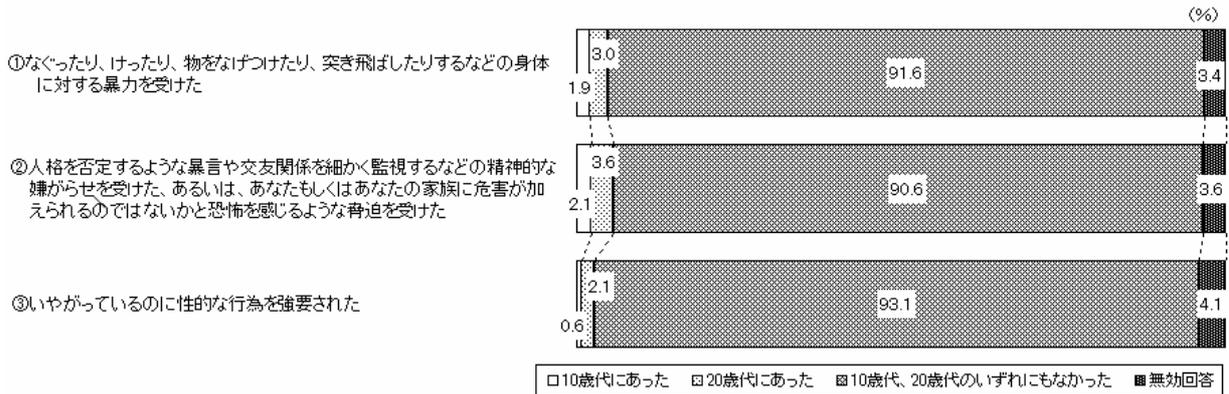
問 22 で「1 交際相手がいた (いる)」と答えた方にお聞きします。

問 23 あなたは、10 歳代、20 歳代に、交際相手から次のようなことをされたことがありますか。

【〇はいくつでも】

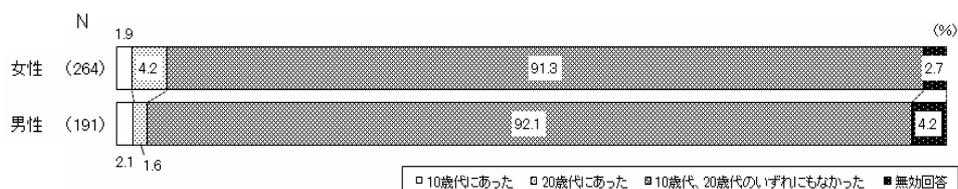
交際相手からの暴力の被害経験について、「身体的暴力の被害」4.9%、「精神的暴力の被害」5.7%、「性的暴力の被害」2.7%となった。

N = 466

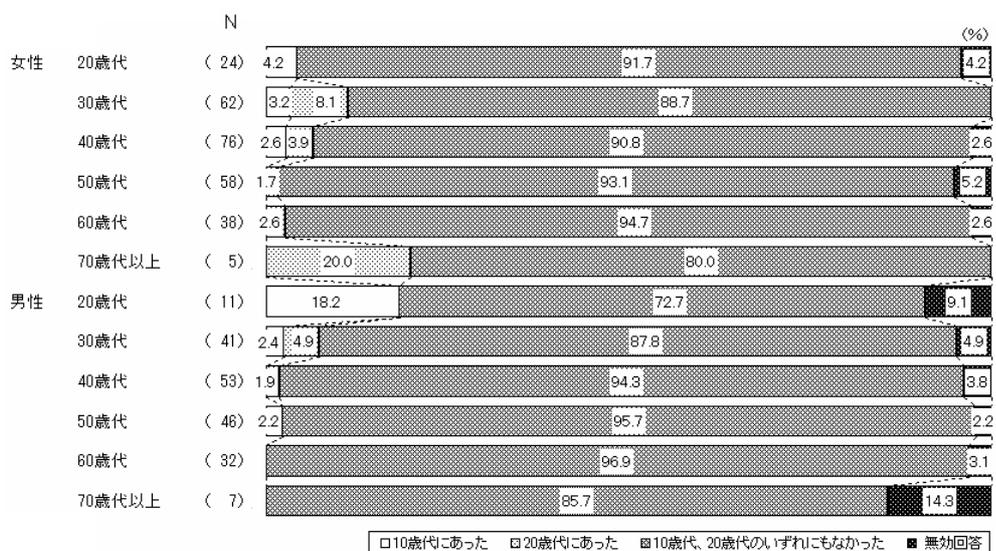


①なぐったり、けったり、物をなげつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた

性別にみると、女性の「身体的暴力の被害」(6.1%)は男性(3.7%)の約2倍となっている。

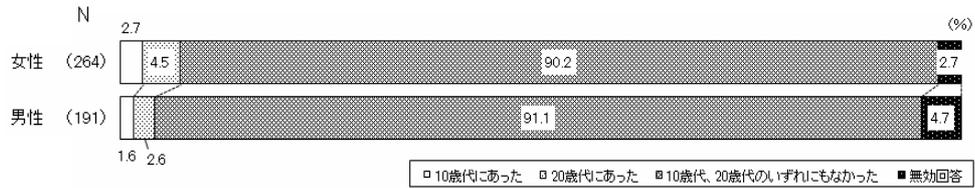


性別/年齢別にみると、「身体的暴力の被害」は30歳代、70歳代以上女性と20歳代男性で高くなっている。

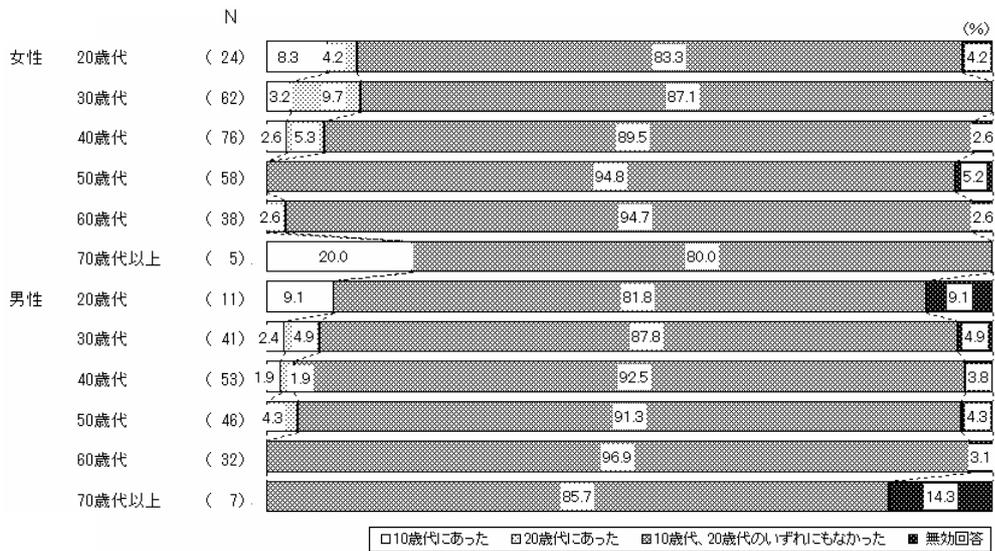


②人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

性別にみると、女性の「精神的暴力の被害」(7.2%)は男性(4.2%)の約2倍となっている。

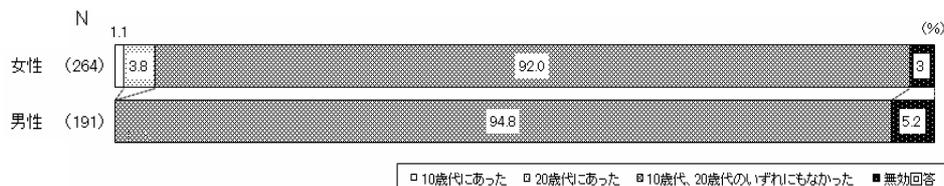


性別/年齢別にみると、「精神的暴力の被害」は女性では20歳代、30歳代、70歳代以上で、男性では20歳代で高くなっている。

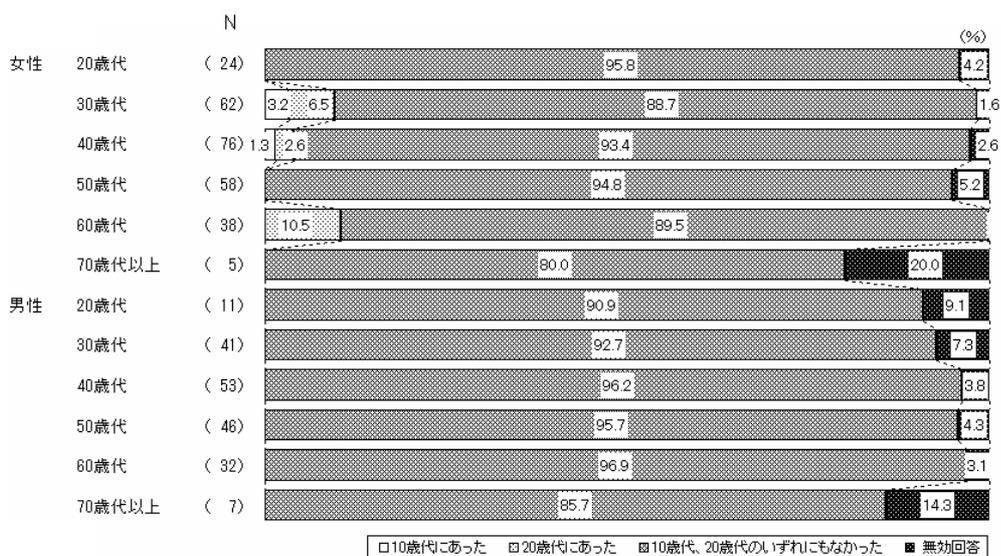


③いやがっているのに性的な行為を強要された

性別にみると、「性的暴力の被害」は女性のみで回答があった。



性別／年齢別にみると、「性的暴力の被害」は30歳代、40歳代、60歳代女性で回答があった。



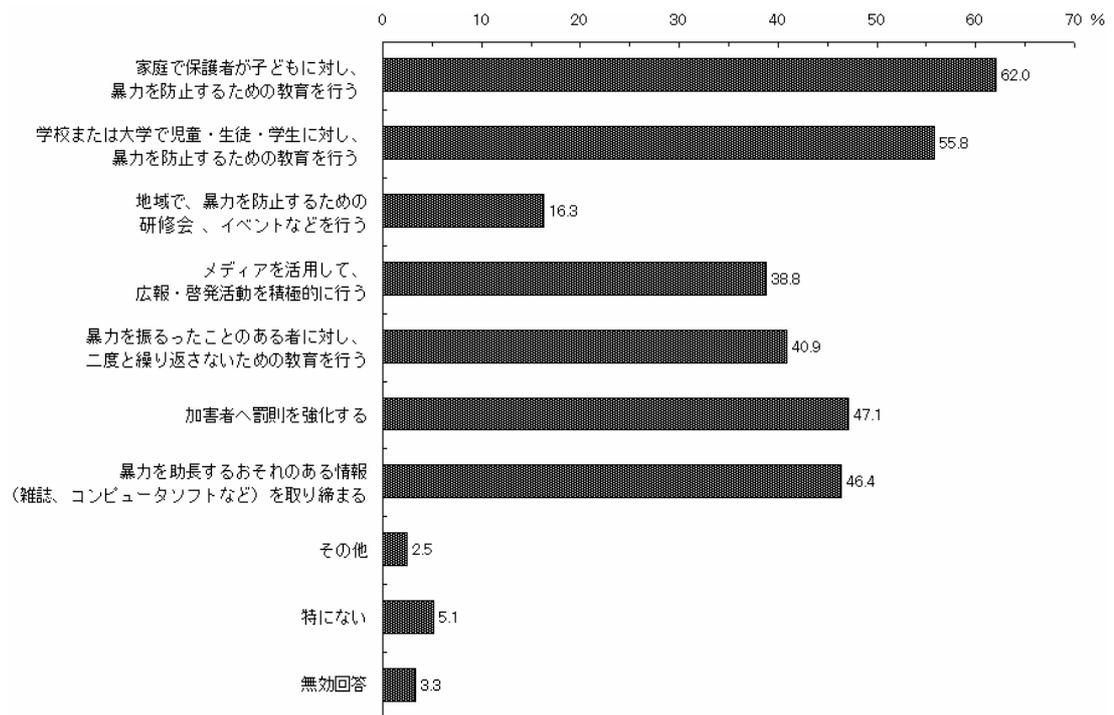
(8)男女間における暴力を防止するために必要なこと

問24 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。

【〇はいくつでも】

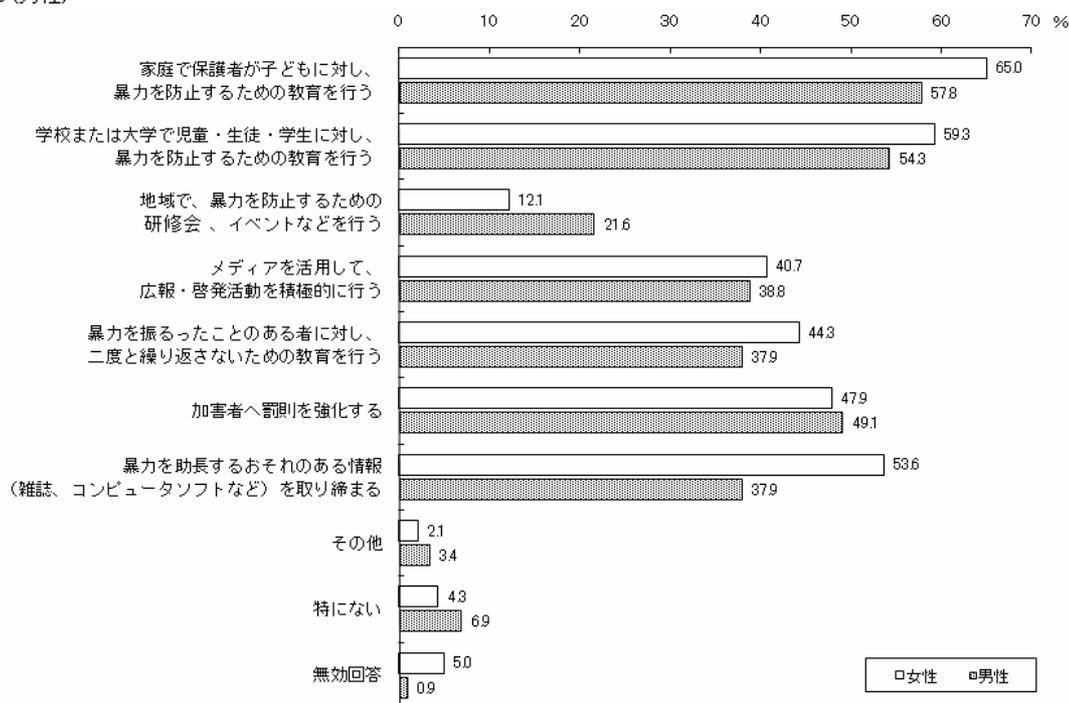
男女間における暴力を防止するために必要なことについて、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」(62.0%)が最も多く、次いで「学校または大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」(55.8%)、「加害者への罰則を強化する」(47.1%)、「暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を取り締まる」(46.4%)となっている

N = 795

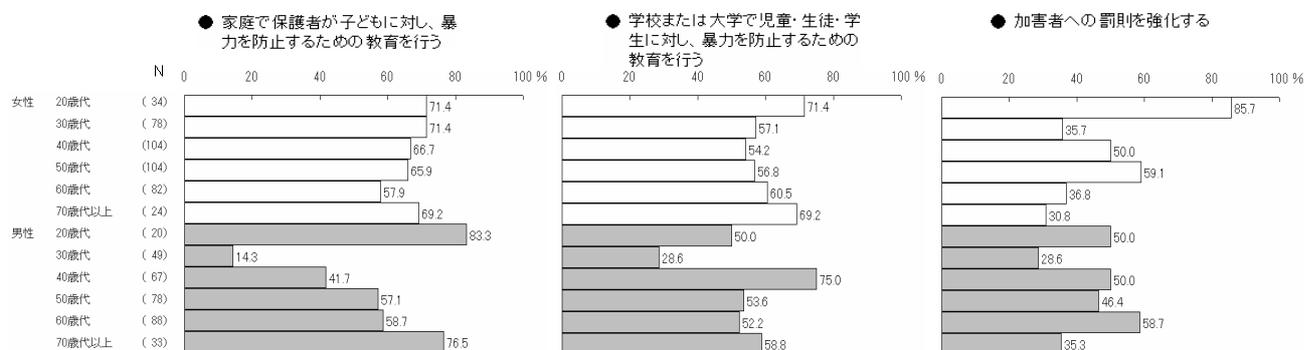


性別にみると、「暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピュータソフトなど）を取り締まる」で男性より女性が15.7ポイント高くなっている。

N = 427 (女性)  
336 (男性)



性別／年齢別にみると、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」という回答は、女性ではすべての年齢で高く、男性では20歳代で最も高く、30歳代で最も低くなった。「学校または大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」という回答は、女性ではすべての年齢で高く、男性では40歳代で最も高く、30歳代では最も低くなった。「加害者への罰則を強化する」という回答は、20歳代女性で最も高くなった。



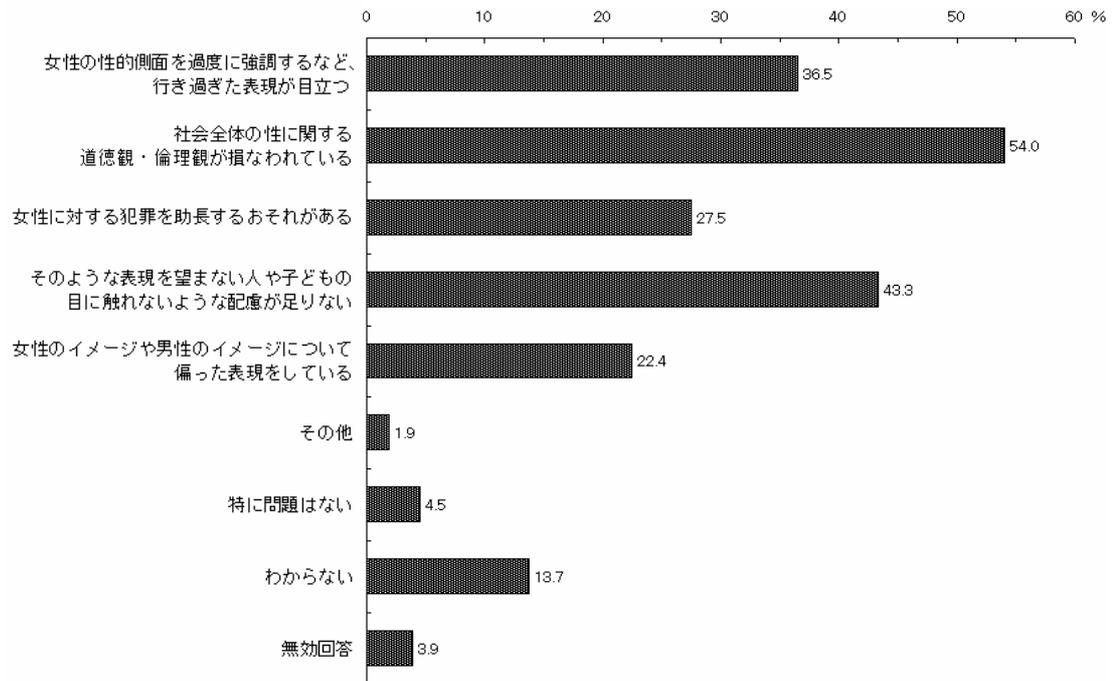
(9) メディアにおける性・暴力表現について

問25 あなたは、メディアにおける性・暴力表現について、どのようにお考えですか。

【〇はいくつでも】

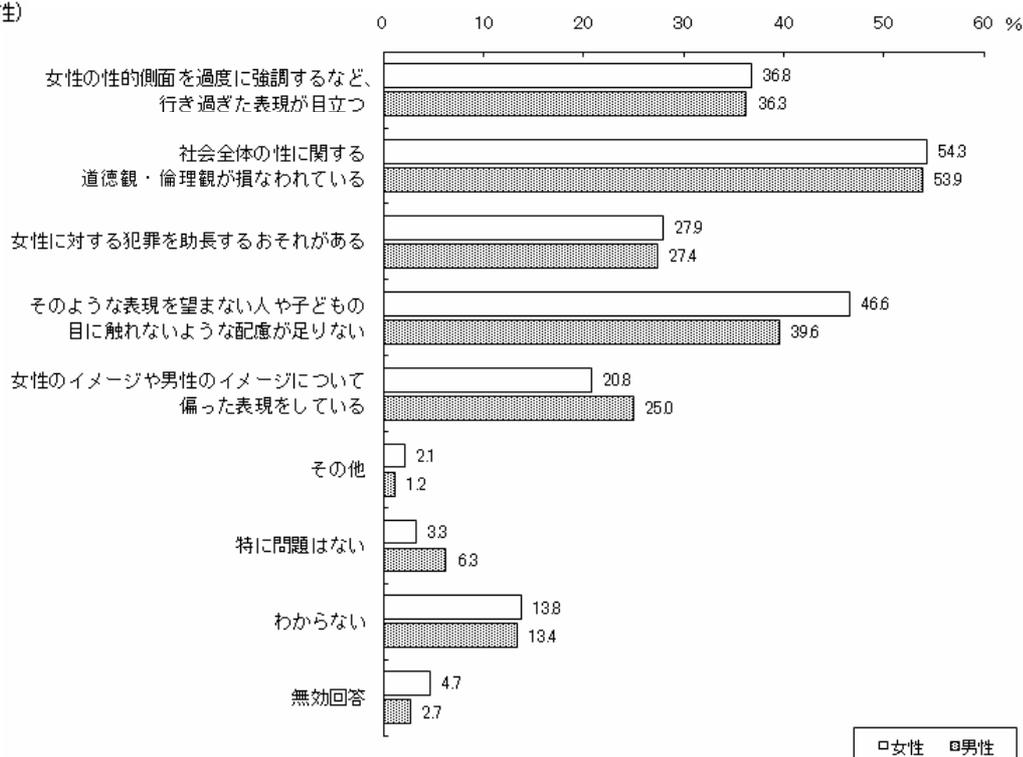
メディアにおける性・暴力表現について、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」(54.0%)が最も多く、次いで「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」(43.3%)、「女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」(36.5%)となっている。

N = 795



性別にみると、大きな差はみられない。

N = 427 (女性)  
336 (男性)



性別／年齢別にみると「女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」、「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」について、全体として、男女とも年齢が高いほど高くなる傾向がみられる。

